

地域の人材を活用した特色ある教育活動

味真野小学校

本校は、地域の人々がたいへん協力的である。その人材を活用して、総合的な学習や特別活動、各教科で体験・見学活動などを行っている。

○百人一首

万葉タイムを週1回水曜日に継続してきた。毎回1首の和歌をまず読んで、次に視写をし、最後に和歌を覚えた。その後、覚えた和歌を友達同士で確認した。こうした流れで取り組んだ結果、百人一首に興味を持つ児童が増えた。また、学習前に集中して和歌を覚えることによって次の学習に対する集中力を養うことにもなった。



3学期には、図書委員会主催で、カルタ大会を行い、学年をといて対戦した。学年に関係なく競技が行えるので、低学年も意欲的に取り組む様子が見られた。低学年でも高学年に勝てるという場合も多く、大会は大変盛り上がった。

また、地区カルタ大会では、講師をお招きして練習会と大会を行った。講師の指導の下、緊張した雰囲気の中、カルタの技能を高めるとともに礼儀作法についても学ぶことができた。

○ふるさと学習

5月に全校で茶摘み体験を行っている。児童会主催で摘み方を伝達し、縦割り班の色別に収穫量を競っている。また、礼状の書き方を学んだり、収穫したお茶でお茶会を企画したりと発展的な活動となっている。



5年総合的な学習では、米作りに取り組んだ。地域の方の指導を仰ぎながら、近くの水田を借りて田植えや稲刈り体験をすることができた。今年度も「かかし」を作り、田んぼに設置した。また、昔の道具を使用した脱穀・精米を体験することで農家の人たちの知恵や工夫の歴史を実際に体験することができた。



3年総合的な学習では、「越前万歳」に取り組んだ。味真野地区には、国の重要無形民俗文化財に指定されている「越前万歳」がある。この伝統芸能をテーマに、3年生が総合的な学習に取り組んだ。越前万歳保存会の人から万歳の由来や謡の意味について話を聞き、その由来などを調べた。



また、本年度は、県立博物館の越前万歳の企画展を見学に行くことができた。

○ クラブ活動

伝統を守る活動として、越前万歳クラブ・琴クラブ・オカリナクラブを開設している。これらのクラブに地域人材をゲストティーチャーとして招き、継続的に活動をしている。地区の文化祭をはじめ、校内外で発表の機会を持つことで練習にも力が入り、よい発表となった。

越前万歳は味真野地区に伝わる伝統芸能であり、児童は、自分たちが守っていかなければという意識を持って積極的に練習や発表に取り組んでいる。本年度も学習発表会や味真野地区の文化祭、こしの都芸能祭、正月行事などで発表の場を持つことができた。

琴クラブとオカリナクラブは、子どもたちが音楽に触れることができるよい機会となっている。今年度も、地区文化祭に参加し、練習の成果を発揮することができた。

